

【令和4年度 政策・調整会議】

件名：「扇島地区土地利用方針」策定に向けた検討状況（中間報告）

日時：令和4年4月19日（火）9：41～9：58

場所：第3庁舎18階 大会議室

●付議理由

JFE スチールが扇島地区の高炉等設備を令和5年9月に休止することにより、本市経済や雇用など本市の施策に重大な影響が及ぶことが予想される。

こうした状況を踏まえ、扇島地区の土地利用転換を早期に実現するため、「扇島地区土地利用方針」の策定に向けた検討を進めており、その検討状況を報告するもの。

●付議概要

1 土地利用方針策定の目的

扇島の果たすべき役割、土地利用の方向性、基盤整備に関する川崎市の考え方などを取りまとめ、本市や JFE をはじめ、国や周辺企業、扇島への進出を検討している機関など多くの関係者と共有することにより、川崎臨海部の長期にわたる持続的発展に繋げ、市民の生活を支えるとともに、日本経済を牽引する効果的な土地利用転換を早期に実現するため。

2 土地利用方針策定の進め方

学識経験者から意見を聴取するための懇談会である「扇島地区土地利用検討会議」を開催しながら、扇島の果たす役割や土地利用の方向性、導入機能、基盤整備に関する市の考え方の検討を進める。

3 今後の検討の視点

・扇島の果たす役割について

平時は「地球温暖化の進行」「産業構造の転換」等の課題を解決するフィールド、災害時は首都圏を守る要となることが考えられる。

・土地利用の方向性について

「カーボンニュートラルを先導」等、5つの方向性を基に、土地利用の実現可能性を検討する。

・基盤整備の考え方について

短中期的取組と長期的取組とに区分した段階的整備を基本として検討する。

4 今後の予定

令和3年度の検討状況を踏まえ、更なる検討の深度化を図り、令和4年度中に土地利用方針を策定する。

●主な意見

- ・関係局区で連携を図り、計画的に取組を進めること。

●結論

報告内容について確認。